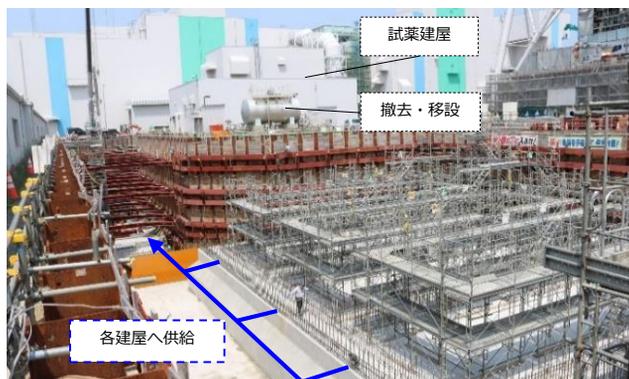


しゅん工・操業に向けた様々な取り組み

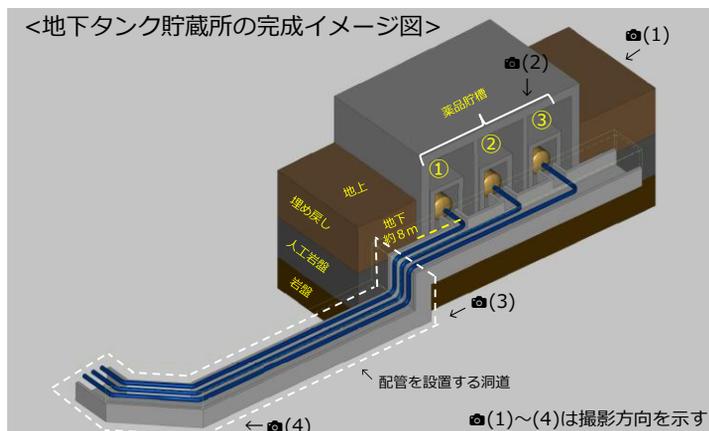
<再処理工場 薬品貯槽の地下化の工事状況について>

1. はじめに

当社は、施設の更なる安全性向上対策として、万一の航空機墜落火災を考慮しても、施設の安全機能を損なわないようにするため、再処理工程のうち分離～精製工程で使用する、3つの薬品貯槽を新たに地下に移設する工事を実施しています。薬品は地下の配管を通して各建屋へ供給されます。



2020年6月時点



- ()内は各貯槽の仕様
- ①硝酸ヒドランジ : 使用済燃料の溶解液から抽出したウランおよびプルトニウムをさらに分離するために、プルトニウムを抽出しやすい化学形態に変える薬品。(縦5.7m×横2.8m、重量17t)
 - ②n-ドデカン : T B Pを希釈するために使用する薬品。(縦5.5m×横2.3m、重量13t)
 - ③TBP : リン酸トリブチルの略。溶解液に含まれるウラン、プルトニウム、核分裂生成物のうち、ウランおよびプルトニウムを抽出するために使用される薬品。(縦5.5m×横2.3m、重量13t)

2. 現在の工事状況

2月4日から10日にかけて、搬入された3つの薬品貯槽を大型クレーンで地下約8mにある設置場所へ据付を行いました。今後、地下タンク貯蔵所の天井部等の工事と、薬品を各建屋へ供給するための配管等の設置を進めていきます。



薬品貯槽を大型クレーンで地下8mにある設置場所へ据付 (2021年2月撮影)



地下の薬品貯槽から各建屋へ薬品を供給する洞道 (2021年2月撮影)



今後も安全を最優先に安全性向上対策工事を着実に進め、地域の皆さまにご安心していただけるよう、社員・グループ会社・協力会社が一丸となって取り組んでまいります。 以上